



Stichting Dialogo Nederland – Japan - Indonesië  
BIC: SNS NL73 SNSB 0927 6534 94  
Email: dialoognji16@gmail.com  
Website: dialoognji.org

## 第19回 オランダ日本インドネシア対話の会へのご案内

オランダ領東インド(現在のインドネシア)における二つの戦争(太平洋戦争とインドネシア独立戦争)の影響は、いまだに多くの人々の心の中に影を落としています。**過去の傷**に心を痛めている人々がいることを忘れず、**理解と和解**に根ざした**平和と共生の未来**のために、オランダ・日本・インドネシアの対話の会を今年も開催いたします。

私たちは、過去の心の痛みや悲しい思い出を乗り越えるだけでなく、世代や国境を超えた人々と共に、さらに力強く平和への歩みを進めたいと願っています。様々な物語を持った、色々な人々との出会いを通して、平和を築こうとする集まりです。

実は、日蘭イ対話の会世話人会が昨年12月にオランダのNGO財団に登録されました。このことを心から喜んでご報告いたします。これを祝い記念して、今年以下のように、三つのプログラムのご案内を申し上げます。

皆様のお越しを心からお待ち申し上げます。

- 1) **シンポジウム**：オランダ戦争資史料研究所(NIOD)との共同開催。テーマ「日本の POW 収容所」  
6月3日(金曜日) 場所：**NIOD Herengracht 380, Amsterdam**  
参加費なし。英語のみ。50名定員。先着順。

詳しくは、添付1をご覧ください。

- 2) **第19回 日蘭イ対話の会、和解の会**：テーマ「第二次大戦の POW と日本国民との和解は可能か？」  
6月4日(土曜日)9:45~15:30 場所：**Utrechts Centrum voor de Kunsten  
Domplein 4, Utrecht T (030) 233 99 17**  
参加費 19,50 ユーロ。二人以上のグループは一人 17,00 ユーロ。学生 10 ユーロ。  
75名定員(実りあるディスカッションができるよう、各グループの人数を制限しています)  
申し込みと送金が完了された方から受け付けさせていただきます。  
申し込みなしで当日の参加は、特別な場合のみ受け付けますが、参加費は 25 ユーロとさせていただきます。

詳しくは、添付2をご覧ください。

- 3) **本とドキュメンタリーフィルムのプレゼンテーション**「福岡俘虜収容所第二分所 追悼記念碑」  
6月4日(土曜日)16:00~17:30 ヌトレヒト UKC にて。参加費なし。申し込みはお早めに。

詳しくは、添付3をご覧ください。

**みなさまからの支援金を受け付けております。是非、口座にお振込みください。**

## 添付 1

### ‘Symposium POW Camps in Japan during the Pacific War’

Friday 3 June 2016, 13.00-17.00

NIOD (Herengracht 380, Amsterdam)

Language: English

The Stichting Dialoog Nederland-Japan-Indonesië (<https://sites.google.com/site/dlgnji4nl/>) in collaboration with the NIOD Institute for War, Holocaust, and Genocide Studies (<http://niod.nl>) organizes a symposium on the occasion of the visit of members of the POW Research Network in Japan to the Netherlands.

#### Programme

Welcome by Eveline Buchheim, NIOD

- Introduction to the POW Research Network by Yoshiko Tamura, POW Research Network
- 
- POW camps in Japan during the Pacific War by Taeko Sasamoto, POW Research Network
- 
- Netherlands East Indies and Australian POWs in Hainan island by Fuyuko Nishisato, POW Research Network Japan
- 
- Dutch civilian internees in Japan by Mayumi Komiya, POW Research Network
- 
- Personal recollections from POWs in the NIOD collection by Eveline Buchheim, NIOD
- 
- Discussion led by Peter Keppy, NIOD
- 
- Final remarks by Yukari Tangena-Suzuki, ‘Stichting Dialoog Nederland-Japan-Indonesië’

We hope to meet you at this event!

Registration is possible until May 25th by mail: [aanmelden@niod.knaw.nl](mailto:aanmelden@niod.knaw.nl)

## 添付 2

# 第 19 回日蘭イ対話の会プログラム

2016 年 6 月 4 日（土曜日）

テーマ：「第二次大戦の POW と日本国民との和解は可能か？」

09:45 受付	コーヒー/お茶の用意があります。	
10:15 開会		トン・ステファン(司会者)
10.20 開会の言葉		タンゲナ鈴木由香里
10.35 「福岡俘虜収容所第二分所追悼記念碑--静かに熟考する場」		アンドレ・スクラム
11.00 「僕の青春は二つの戦争で消えた」		ヘンク・クレイン
<b>11:25</b>	<b>休憩</b>	
11.45 「私がなぜ捕虜問題に関わるようになったのか」		笹本妙子
12.10 「オランダ人被爆者への感謝、そして精神浄化への道」		綿貫葉子
<b>12.35</b>	<b>昼食</b>	
13:25 グループ ディスカッション		
14:55 ディスカッションのまとめ		アヤ・エザワ
15.20 閉会の言葉		村岡崇光
15.30 讃美歌 Captives' Hymn 閉会		トン・ステファン

グループ ディスカッションでの話し合いは、司会者のリードにより参加者が互いに出会い、テーマに沿って話し、聞き、疑問を出し合う、落ち着いた雰囲気のひとつです。使用言語は、英語またはオランダ語です。

講演内容は、オランダ語、英語、日本語に訳されたものを受付で配布いたします。

### 講演者の紹介

アンドレ・スクラム	福岡俘虜収容所第 2 分所の元捕虜の子息。日蘭イ対話の会の会計担当。
ヘンク・クレイン	福岡俘虜収容所第 2 分所の元捕虜。第二次大戦後インドネシア独立戦争でさらにを戦った。
笹本妙子	POW 研究会 事務局長。会の設立者の一人。
綿貫葉子	SOO 理事、日系インディッシュ・オランダ人被爆者支援、POW 研究会会員。

### 添付 3

## 福岡俘虜収容所第 2 分所についての本とドキュメンタリーフィルムの プレゼンテーションへのご案内



2015 年 9 月 13 日に長崎で福岡俘虜収容所第 2 分所のすべての犠牲者のために特別な追悼記念碑が除幕されました。この記念碑が特別だというのは、先ず長崎市民によって建立されたという事実、また収容所内で亡くなった方々だけでなくこの収容所から生き残った人達も含めてすべての犠牲者を記念して建てられたという事実からです。この出来事と犠牲者やその家族の話を残すために本が出版され、ドキュメンタリーフィルムが制作されました。この両方が 2016 年 6 月 4 日にユトレヒト・カルチャー・センターでプレゼンテーションを開催します。

どうぞ以下を参照され、ご出席を賜りたく、ここにご案内申し上げます。

場所： Utrechts Centrum voor de Kunsten (UCK), Domplein 4 in Utrecht

日時： 2016 年 6 月 4 日 16 時より。17 時 15 分頃からレセプション。

プログラムは以下の通り。

- 開会の言葉 (E.ヤーコブ氏 前在日オランダ大使)
- この本について (L.ファン・アッヘレン 著者)
- このドキュメンタリーフィルムについて (E.デ・フロート 映像制作者)
- 福岡俘虜収容所第 2 分所の生存者とこの収容所に収容されていた捕虜の第 2、第 3 そして第 4 世代に、この本とフィルムのプレゼンテーション (E.ヤーコブ氏)
- 感謝の辞およびにこの本とフィルムの今後の展望 (A.スクラム 日蘭イ対話の会)
- 閉会の言葉 (E.ヤーコブ氏)
- レセプション

この会でお目にかかれるのを楽しみにしております。

お申し込みは、添付 4 をご覧ください。

**みなさまからの支援金を受け付けております。是非、口座にお振込みください。**

## 添付4

# 申込書

以下の項目に丸を付けて、2016年5月25日までに [dialoognji16@gmail.com](mailto:dialoognji16@gmail.com) または郵送で、Stichting Dialoog NJI, Valenberg 16, 5508 BZ Veldhoven へてにお送りください。

以下のプログラムに参加します。参加者数\_\_\_\_\_人

1. 日蘭イ対話の会 6月4日(土曜日) ユトレヒト UCK
2. 日蘭イ対話の会 午後のディスカッション
3. 本とフィルムのプレゼンテーション (土曜日) 日蘭イ対話の会に引き続く。

口座番号 NL73 SNSB 0927 6534 94 口座名 Stichting Dialoog NJI. に日蘭イ対話の会(上記1番)の参加費 \_\_\_\_\_ユーロを送金します。昼食は、\_\_\_\_\_人分ベジタリアンでお願いします。

以下に参加者のお名前と各々のメールアドレス、上記の何番のプログラムにご参加されるかを明記してください。

.....

.....

.....

.....

## ユトレヒトの UCK への行き方

Utrechts Centrum voor de Kunsten のウェブサイト(<https://www.uck.nl/cursus/beeldende-route-op-maat1#>)で UCK の所をクリックし、ご自分のご住所を入力し、どの交通手段かをクリックすると行き方が表示されます。

駐車場に関しては、こちらのサイトをご覧ください。 <http://objectdesk.gemgids.nl/Publication/Site/180#>

- Janskerkhof
- Parkeergarage Springweg
- P+R er zijn diverse locaties